

製品名: NEK6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14556**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	NEK6
別名	
遺伝子 ID	10783.0
SwissProt ID	Q9HC98
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 90-170

背景

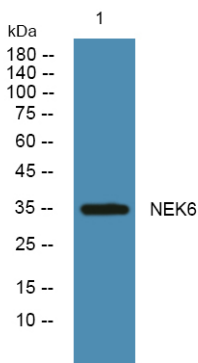
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、有糸分裂の中期部分の進行に必要なキナーゼです。コードされているタンパク質の阻害は、アポトーシスを引き起こします。また、このタンパク質は腫瘍細胞の老化を抑制することで腫瘍形成を促進します。この遺

伝子には、いくつかの異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2011年10月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、補因子: マグネシウム。、機能: M 期に活性化されます。中期-後期移行時の染色体分離に必要であり、したがって有糸分裂の進行に必要です。活性が阻害されるとアポトーシスを引き起こします。、PTM: 自己リン酸化されます。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。NEK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。NIMA サブファミリー。、類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、組織特異性: 普遍的に存在し、心臓と骨格筋で最もよく発現する。、

研究分野

細胞生物学

画像データ



U2OS 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、NEK6 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩